

2023年9月14日

各 位

一般社団法人全国銀行資金決済ネットワーク

次期全銀システムの構築ベンダの決定について

当法人（理事長：辻 松雄）は、本日開催の理事会において、次期全銀システム（ミッションクリティカルエリア）の構築ベンダを株式会社 NTT データに決定いたしましたので、お知らせ申し上げます。

構築ベンダ決定までの経緯については別紙をご参照ください。

以 上

【本件照会先】企画部 千葉、尾室、黒岩 TEL 03-6267-7284



次期全銀システム構築ベンダ決定までの経緯

TF・WGの設置等

- 2020年度に、「次世代資金決済システムに関する検討タスクフォース」(TF)を設置。現行ベンダ以外の複数のベンダが議論に参画。
- 2022年度に設置した、「次世代資金決済システム検討ワーキンググループ」(WG)において、議論に参画するベンダを追加公募。

基本方針策定

- 2022年度に、TFおよびWGにおいて、次期全銀システム提案依頼書的前提・インプットとなる基本方針について議論。
- 2023年3月に「次期全銀システム基本方針」※を策定・対外公表。

提案依頼書 (RFP) 策定・実施

- 2023年5月に、「ミッションクリティカルエリア」を提案のスコープとする「次期全銀システム開発提案依頼書 (RFP)」を策定。
- 指名競争入札方式を採用し、WGに参加しているベンダ6社 (NTTデータ、日本アイ・ビー・エム、日本電気、日立製作所、BIPROGY、富士通) に提案を依頼。

ベンダ選定等

- 2023年9月の全銀ネット理事会において、次期全銀システム (ミッションクリティカルエリア) の構築ベンダを決定。
- なお、「アジャイルエリア」における新機能・新サービスのRFPは、WGにおける議論を踏まえ、今後、必要に応じて実施予定。

※ 次期全銀システムにおいては、内国為替取引・資金清算等の主要業務を実現するエリア (ミッションクリティカルエリア)、主要業務に付加される機能・サービスを提供するエリア (アジャイルエリア) に分け、これらをレイヤー構造として連携させる方針。 (https://www.zengin-net.jp/announcement/pdf/20230316_basicpolicy_8Z.pdf)